

▶ 講談を行う一龍齋春水さん



みんな つんで 絆深める ともがきの輪

2013天草つんでフェスタ

2月17日、「2013天草つんでフェスタ」が河浦町の一町田公民館で開催され、市民など約250人が参加しました。市が男女共同参画社会の形成を促進しようと毎年開催しているもの。

催しでは、崎津ハイヤの披露をはじめ、地元の小・中学生による人権に関する作文の発表、同フェスタ実行委員会委員の皆さんによる男女共同参画にまつわる寸劇が披露されました。

また、講談師の一龍齋春水さんが、昭和の初めに26歳の若さで人生を閉じた童謡詩人「金子みすゞの生涯」を講談され、参加者は熱心に聞き入っていました。



▶ つんでフェスタ実行委員会の皆さんによる寸劇

航海の安全を祈願

石神様参り

3月5日、二浦町亀浦地区の石神山山頂にある市指定史跡“石神様”で、航海の安全を祈願する参拝行事が行われました。石神様は、直径3mの大きな石で、昔から航海の安全を祈る神として伝えられています。同地区では毎年、旧暦の1・5・9月に参拝行事を実施。この日は地区住民30人が参加し、神事後お供えしたものを食べる直会が行われ、参拝者は「最近では参拝者も高齢化しているが、伝統を若い世代につなげていきたい」と話していました。



▲航海の安全を祈願する参加者

地域防災力の向上に期待

財団法人日本消防協会が市へ多機能型消防車両を交付

3月1日、財団法人日本消防協会から市へ多機能型消防車両1台が交付され、市消防団御所浦方面隊に配備されました。同協会が消防団の装備充実などを目的に、財団法人宝くじ協会の協力を得て平成19年度から全国の消防団に交付しているもので、市への交付は初めて。車両は、最大積載量2トン級で4輪駆動。小型動力消防ポンプ等の消火資機材をはじめ、AED（自動体外式除細動器）やエンジンカッターなどの救急・救助資機材を装備。地域防災力の向上が期待されます。



▲交付された多機能型消防車両

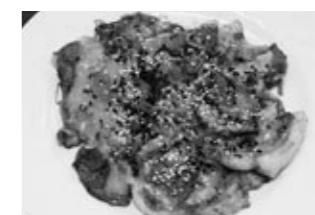
おいしい！イノシシ肉を使った“ジビエ料理”

ジビエ料理講習会

2月18日、「ジビエ（野生鳥獣の肉）料理講習会」が五和町の地域交流センターおおくすで開催されました。参加したのは、地元の食品加工グループなど20人。市が、イノシシ肉の普及を目的にオリーブオイルソムリエの小暮剛さんを招いて開催したもの。小暮さんは、天草産のイノシシ肉を使ったハンバーグやソテー、しゃぶしゃぶを調理。料理を食べた参加者は、「臭みもなく、おいしい。ぜひ、挑戦してみたい」と話していました。



▲料理講習会のようす



◀できあがったイノシシ肉のソテー

てらのくんいってらっしゃーい!!

海上タクシーで天草御所浦ジオパークをPR

天草御所浦ジオパークをPRするデザインが施された海上タクシー（船）が3月9日、御所浦港に登場しました。天草御所浦ジオパーク推進協議会とあまくさ海上タクシー協会が企画したもので、船体には天草御所浦ジオパークの文字とともに、恐竜をモチーフにした御所浦町のイメージキャラクター“てらのくん”が描かれています。この日は、地元の保育園児や住民など60人が参加して、船下ろし式を実施。進水時には、「てらのくんいってらっしゃーい」と手を振る園児たちの姿が見られました。



▲てらのくんが描かれた海上タクシー

備えあれば憂いなし

有明町津波避難訓練

3月3日、「有明町津波避難訓練」が同町内全域で行われ、地区住民1,500人が参加しました。市が、災害時における連携強化や支援体制の構築などを目的に実施したもの。訓練は、八代海を震源とする震度5強の大規模地震が発生し、5mを超える巨大津波が同町沿岸に到達するとの想定で実施。高台への避難のほか、市社会福祉協議会有明支所や地区振興会による災害ボランティア養成研修会、炊き出し訓練などが行われ、参加者は、真剣な表情で取り組んでいました。



▲高台へ避難をする住民たち